

## 越前町議会・令和6年3月定例会一般質問【石田和朗議員】

(令和6年3月6日 午前11時42分 開始)

○4番(石田和朗君) 今日の福井新聞の1面、越前がにでした。すごいですね。超期待が持てます。

議長のお許しを得ましたので、通告書に基づいて一般質問をさせていただきます。

越前町は漢字で「海土里」と書き、みどりと読みますが、その言葉をキャッチフレーズにしている風土、風景、そして食べ物がおいしい町です。ふるさと納税はそんなすばらしい当町へ、自分たちの故郷、ふるさとでなくても応援したい自治体として寄附ができる制度です。

ここ数年間、カニを中心として様々な返礼品のおかげもありまして、全国から多額の寄附が寄せられ、とてもうれしい限りでございます。ふるさと納税は名前こそ税、税金がつきますが、税金ではありません。寄附金です。今日現在、インポイントや何やかんやと言われまして、税務署がすごいことになっています。公的な寄附金なので、それよりも返礼品の魅力、その自治体を選んでいるのが実情です。

越前町、この町は魅力の発信、地元の特産の販路拡大や活性化を図るため、寄附者への返礼品提供の協力店を募っています。現在、町内の登録業者は何社で、うち特産品の注文を受けられた登録業者は何件か。どんな特産品が人気かという、いわゆる売れ筋、上位だったかをお伺いいたします。よろしくお願いします。

○議長(佐々木一郎君) 総務理事。

○総務理事(菅原辰彦君) それでは、石田議員のご質問にお答えいたします。

令和6年1月末現在のふるさと納税返礼品の登録事業者は64社です。そのうち特産品を返礼品として取り扱い、注文を受けている事業者は28社で、内訳としましては越前がに12社、越前焼11社、越前水仙1社、越前ガレイ2社、タケノコ2社になります。

また、選ばれている数が多い返礼品は、令和6年1月末現在ではセイコガニ甲羅盛り、福井県産いちほまれ、生本マグロ中トロなどで、主に魚介や海産物、米類が多い傾向にあります。

○議長(佐々木一郎君) 石田和朗君。

○4番(石田和朗君) ありがとうございます。

先ほども申し上げましたが、町行政は寄附金の返礼品を、町内の誇る品々を全国にアピールして、中でも越前がには大きなシェアを占めています。ふるさと納税は寄附者の意識次第で増減する要素があります。また、地球の温暖化やこの間あれだった潮流激変のため、もしも越前がにがあまり取れなくなったら、代わりとなる特産品は考えられません。そのために寄附金歳入は高止まり、今、減少する時代になったら大変なことになります。

多くの住民の方は、越前町は県内の市町でふるさと納税が上位ということは認識されていますが、使い道が分からないと思います。町当局は広報えちぜんなどでお知らせはしていますが、活用した事業の中には、仮に寄附金収入がなかったとしても、当然支出しなければならなかった事業費用に充てられているようにしか私は感じられていません。

そこで、越前がににはタグがついていますので、ブランド品としてタグをつけて

いるようにふるさと納税の使い道にふるさと納税という縛りをつけて、せめて半分、50%程度、将来に輝く特別な財産として大事に積み立て、貯金していただいたらいかがかと私は思います。町長のご所見をお伺いいたします。よろしくお願ひします。

○議長（佐々木一郎君） 町長。

○町長（青柳良彦君） それでは、石田議員のご質問にお答えいたします。

本町へのふるさと納税による寄附額は、昨年度が8億7,900万円、本年度も10億円を超える寄附をいただいております、この場をお借りいたしまして、心より感謝申し上げますとともに、引き続き変わらぬご支援を賜りたいと存じます。

寄附金につきましては、半分を返礼品などふるさと納税の推進に必要な経費として、残り半分を翌年度以降の子ども医療費の助成や高校生の通学定期購入費助成、出産育児祝金などの子育て支援、空き家活用の助成や定住促進などの人口減少対策など、様々な事業に活用しています。また、活用した事業につきましては町のホームページや広報紙で公表しております。

ふるさと納税は、自治体を応援したい、力になりたいという思いでいただいた納税者からの寄附を自治体側が施策に反映させる制度です。寄附者の方は、ふるさと再生寄附条例に定められている快適で安全に住み続けられるまちづくり事業など、5つのまちづくりのための事業から使い道を選ばれて寄附をされます。

町といたしましては、寄附金を将来に向けた財源として積み立てるのではなく、今後とも寄附をいただいた皆様の思いを形にすべくまちづくり事業に活用し、住みよい魅力ある町の実現に向けて尽力してまいります。

○議長（佐々木一郎君） 石田和朗君。

○4番（石田和朗君） 今ほど町長の答弁にありましたけれども、令和5年度は約10億円のふるさと納税が歳入見込みと聞き及びました。しかしながら、常に財源をしっかり把握して、町民に寄り添うためにもよろしくと思いますけれども、先ほど申し上げたように、この町のドル箱というか、カニがなかったら、今のようなことはもっと真剣にこれから行政をつかさどっていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

以上です。終わります。

(午前11時52分終了)